

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①ほたるいか海上観光	この春、ほたるいか海上観光の観光船が壊れた。徳島県には海中の魚を眺められる観光船がある。新調するなら、このような船にしてほしい。	ほたるいか海上観光の再開に向け、観光船を購入する補正予算案を市議会臨時議会に上程します。購入予定の船では海中観光はできませんが、47人乗りの高速艇です。ほたるいか海上観光以外の時期には、湾岸クルージング等にも活用したいと考えています。
②行田公園	行田公園内の橋は、錆びているものもある。滑川の龍宮城のイメージと絡め、赤く塗装してはどうか。	園内には橋が4つありますが、自然との調和を考慮し、黄色や茶色などが選ばれています。赤色塗装も今後、機会があれば検討します。塗装の錆びや剥げは適宜、修繕します。
③学級編成	寺家小の1クラスの児童数が多く、教室が狭い印象を受けた。おそらく40数人はいたと思う。1クラスの人数は20数人に留めるか、それが難しいなら広い教室を用意してほしい。	寺家小は1、2年生が35人学級、3～6年生が40人学級で、41人以上のクラスはありません。ただ、3、5年生には40人近いクラスもあり、他の教室より狭く感じるかもしれませんので、35人学級に改められるよう。県を通じて、国に強く要望しています。
④サイン灯	街路樹に連なって設置されている、ホタルイカをかたどったような照明が1箇所消えていたので修繕してほしい。	滑川中央線にあるサイン灯のことと思われます。球切れの可能性があるので、すぐ確認して対処します。
⑤東福寺野自然公園	東福寺野自然公園の園内での喫煙を遠慮してもらえよう、市で利用者に指導してほしい。また、パークゴルフ場のコースにあるモミジが枯れている気がするので、対処してほしい。	新たに整備した駐車場と園内に、タバコのポイ捨て等に関する注意喚起の看板を設置したいと思います。ご指摘のモミジについても、すぐに樹勢等を確認します。
⑥移住・定住促進	本市では住みよさ、子育てのしやすさを充実させ、移住・定住促進を図っているが、移住者に住宅面の便宜を図る施策にも注力してほしい。市営住宅は家賃が高く、空き部屋が多い。遊休状態にしておくより、移住者、特に若い夫婦向けに家賃を5年間引き下げる等、定住促進に役立ててほしい。家賃収入を確保でき、転入で人口増加につながる。やがては家を建ててくれる可能性もある。子どもが生まれれば、滑川を故郷とする人間が新たに増えることになり、定住促進を図れる。	人口減少時代に入り、全国の自治体が人口確保に知恵を絞っています。住宅の「たたき売り」的な施策や家賃・固定資産税等の優遇策も多く、自治体同士の「消耗戦」を招きかねません。本市では子育て支援等の拡充や企業誘致等を通じた勤め先の充実など、住みよい場所としての魅力を高める路線を強化しています。市内企業を回り、市外からの通勤者に本市の暮らしやすさをPRしています。8月中旬からはサークル活動をイメージした本市独自の婚活支援事業「滑川!オトナ部活」を始めます。本市在勤の若者にも多数参加してもらい、移住・結婚・出産の件数増加につなげます。
⑦ワーク・ライフ・バランス	市独自の婚活支援事業「滑川!オトナ部活」に期待を寄せているが、最近の若い人は長時間労働にさらされ、良い企画やイベントがあってもなかなか参加できない。行政が個別の事業所に職場環境の改善を働きかけることは難しいと思うが、市ではワーク・ライフ・バランスについて、どのように考えているか。	近年は残業や休日出勤のため、なかなかイベントに参加できない人が多いと思います。「滑川!オトナ部活」のPRにあたり、若手従業員の参加を極力後押ししてもらえよう、企業の経営者や人事担当者の方々に理解を求めて回っています。本事業は1度きりでなく、12月までに複数回、平日や休日、昼や夜など多彩な日程で男女の共同作業を行うので、様々な労働環境の方に参加していただけます。また、安田工業団地内では団地内保育所ができないか、立地企業の経営者の方々に相談しています。地元企業と連携し、私生活と労働時間の調和のとれた環境づくりに努めます。
⑧ふるさと龍宮まつり	「ふるさと龍宮まつり」は今年度、台風の影響で初の中止となった。商工会議所青年部や青年会議所でも、市や町内会と連携し、盛り上げようと知恵を絞ってきたが、マンネリ気味である。今回の中止を仕切り直しの好機ととらえ、真剣に今後について考え直すべき時だと思う。その際、市などがしっかりと方向性を示すべきだと思う。	「ふるさと龍宮まつり」は産・官・民さまざまな団体・個人で実行委員会を組織し、意見・アイデアを出し合って運営しており、市単独では方向性を決めることができません。最近では腕相撲大会、ダンス大会、ランバイクレースなど、若者発の取組みが新しい風を吹き込んでいます。よく対比されるお隣・魚津市の「じゃんとこい魚津まつり」は町内会だけでなく、多数の立地企業が職場単位で「せり込み蝶六踊り街流し」に参加しています。本市でももっと企業の理解・協力が得られるよう、真剣に議論していきたいと思います。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨いじめ対策	全国的に、子どものいじめ・自殺が問題となっているが、報道では、学校側の責任逃れの姿勢、消極的な対応も目立つ。本市では、いじめ対策のため、どのような体制をとっているのか。	岩手県矢巾町の「中2いじめ自殺」報道を受け、本市ではいじめを含め、児童・生徒の悩みの解消に努めるため、学務課長が各校を巡回し、教師側が問題を放置しないよう、校長らに口頭で説明しました。子どもがいじめ・からかいに自ら対抗できるよう、言葉で意思を伝える力を養う「アクティブラーニング」や人権教育も充実させます。また、スタディメイトやスクールカウンセラーなど、外部の専門家の力を積極的に学校現場に取り入れ、問題の多角的な対処に努めています。今年度は教育委員会でも、いじめ対策に関する会議を組織し、個別具体的なケースに応じて児童相談所や外部の専門家が直ぐ集まれる態勢を整えました。
⑩土曜授業	土曜授業は今年度、第2土曜以外にも実施されるようになった。学校との打合せの結果、決まったそうだが、大会等のかなりの日程が重なっているスポーツもある。今後、どのような方針で行うのか。	土曜授業は2年目の今年、連休等と重ならないよう、学校と調整を図り、第2土曜に限定しないこととしました。今後も課題の洗い出しと検証に努めます。土曜授業は、7割は通常の授業とし、3割は総合的な学習、地域の方々の協力で行う授業など、土曜ならではの内容を心掛けていきます。
⑪不審者対策	西加積地区在住だが、今年、娘が2日連続で不審者に待ち伏せされた。被害はなかったが、妻も子も大変恐怖を感じている。学校、警察にも報告したが、市では防犯カメラの設置等、何か対応できないのか。	温暖になると不審者が出没しがちです。遭遇した子どもには可能な限り被害状況を学校に報告してもらい、地域学校安全指導員(スクールガードリーダー)が巡回しています。保護者には学校から出没を知らせるメール連絡もします。不審者は広域で出没するため、県レベルでの情報共有にも努め、大きな被害に発展しない体制づくりを図っています。
⑫市文化・スポーツ振興財団	市文化・スポーツ振興財団は、多額の予算で運営されている本市屈指の組織だが、事務方トップの事務局長が頻繁に交替している。平均すると任期は1年程度で、定年を迎えた市職員ばかり充てられる印象だ。事業の振興が期待できる人事と言えるか。在任期間の短い局長に、職員を適切に査定できるだろうか。	事務局長の任期は1年ではなく、前任者は3年間勤めました。また、財団職員の査定権者は市長が務める理事長、次いで副市長が務める副理事長です。
⑬道路の融雪	安田の交差点から東福寺野自然公園に至る県道で、除雪車が側道の用水に排雪するが、用水の水が道路にあふれ、下方にある安田の交差点周辺にたまる。消雪装置を整備してほしい。	ご指摘の県道・滑川自然公園線は、県が拡幅工事を行っており、歩道も整備されます。この道の勾配では水が氷る恐れがあり、消雪装置は設置しないことになりました。今後は用水でなく拡幅箇所には排雪し、用水が溢れないようにされます。また、スーパー農道から安田交差点では河川水を使った消雪が行われていますが、今年度、県が消雪装置の設置に向け準備に入ります。
⑭道路の新設	田林から五反田へ行くには、一旦信号で止まり、安田から迂回しなければならない。土砂崩れで通れないこともある。スーパー農道から直接行ける道路を整備してほしい。	市道本江・五反田線は昨年7月19日、土砂崩れに見舞われましたが、現在は復旧工事も終え、通行できます。スーパー農道から直接、五反田へ至る道路の整備については、今後の検討課題の一つとして伺います。
⑮子ども食堂	放課後児童対策と食育推進の一環で、子どもが保護者の同伴なしに、栄養バランスの取れたメニューを安価で気軽に食べられる「子ども食堂」を作してほしい。東京では、子どもの貧困や孤食・偏食の防止を目的に、NPO等による運営の輪が広がっている。2階に子ども図書館もあり、子どもたちの拠り所ともなっている市民交流プラザ内が望ましい。	本市の食育は現在、学校給食を軸に推進していますが、「子ども食堂」については、NPOなど運営に積極的な個人・団体があれば、サポートしたいと思います。ただ、子どもの貧困は近年、国内外で問題となっています。本市でも需要が高まれば、民間の運営主体の登場を待たず、何か対応できないか、検討したいと思います。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑯融雪装置	融雪装置は冬場以外は遊休状態だ。打ち水のため、夏場にも放水してはどうか。	今夏の実施は難しいですが、来年以降、どこかの地区で試験的に実施できないか、検討したいと思います。
⑰観光振興	本市の良い景色、美味しい食べ物を活かし、宿泊と飲食に力点を置いた観光振興が必要である。特に、他県の子どもの宿泊学習や外国人のホームステイの需要を開拓してほしい。北陸新幹線が開通したが、タクシー等の二次交通も充実させ、「宿場町」として栄えた江戸時代のように栄えてほしい。	北陸新幹線開業後、ほたるいかミュージアムなど市内観光地の入り込みは前年比約2割増で推移しています。来年度から海から剎岳を眺める湾岸クルージング等の実施も検討しており、新幹線効果を継続させます。合宿の学生やスポーツ団体の宿泊客も増加傾向で、スポーツ施設等の充実等を強みにさらに誘致します。市内の飲食店で使える「キラリン・プレミアム商品券」を今夏、発売します。市内の全飲食店を紹介したパンフレットの発行も予定しています。